

15年後(2037年)に迫ったリニア中央新幹線「奈良市附近駅設置」と五條市の大規模広域防災拠点の整備、
リニア中央新幹線「奈良市附近駅」－関西国際空港接続線のリニア関連3点セットの実現

①15年後(2037年)リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置



リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレットを基に作成

- 奈良県は、リニア駅を中心としたまちづくりや、用地取得等の取り組みを通じ、全面的に協力。



リニア駅周辺のまちづくり(イメージ)

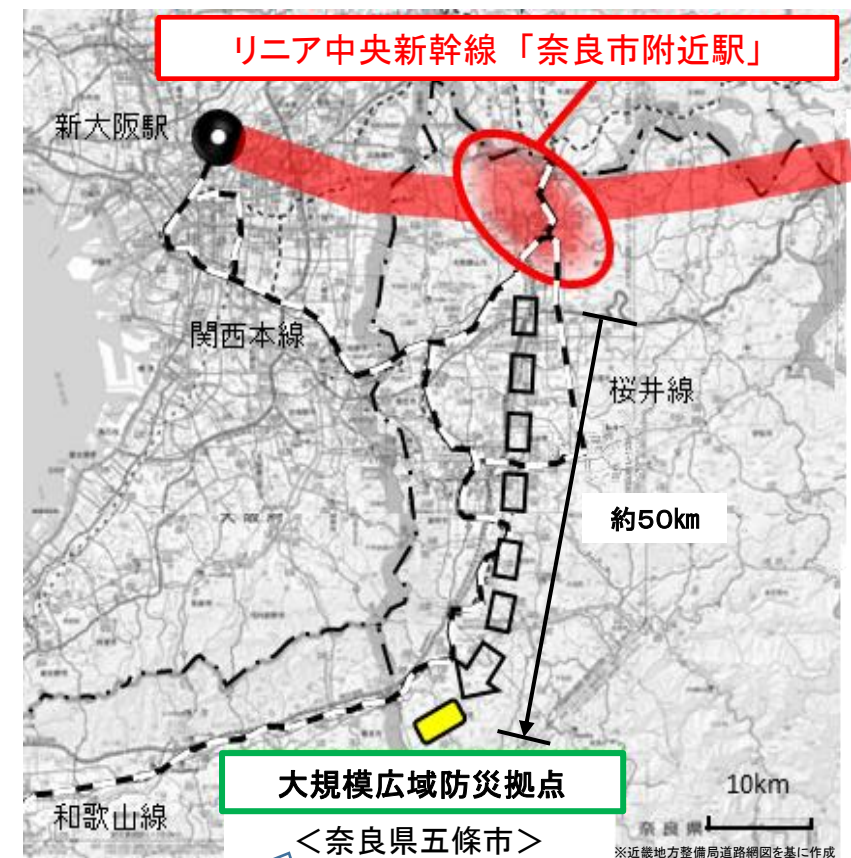
- 本年2月、奈良市長・大和郡山市長より、連名の共同要望書が提出。
(共同要望書の内容)
 - ・ 環境影響評価手続きの開始を見据え、本県の候補地として一致結束して取り組む。
 - ・ リニア中央新幹線の整備効果を奈良県全域の発展に生かし、ともに未来を切り拓く観点から、「奈良市附近駅」の設置を要望。

国にお願いすること

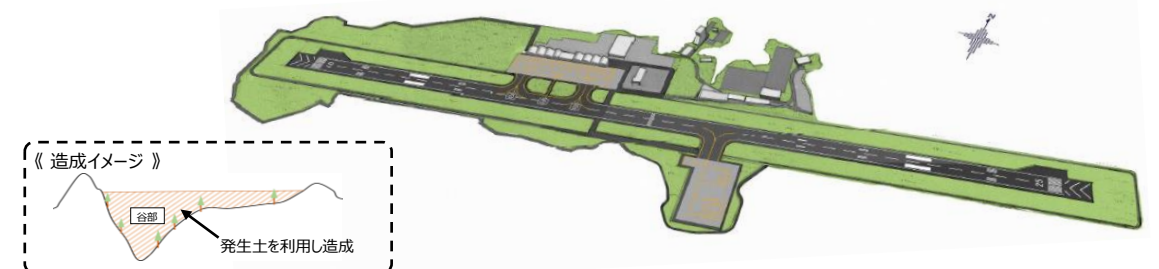
1. 「奈良市附近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートを早期に確定すること。
2. 2037年の全線開業に向けた早期事業化のため、名古屋～大阪間の環境影響評価手続きに速やかに着手すること。
3. 奈良県内の工事を早期に着工すること。
4. 車両基地を大阪のターミナル駅の近傍である奈良県内に設置すること。

②五條市に大規模広域防災拠点を整備

- 南海トラフ巨大地震等に備え、紀伊半島全体の救助・支援活動拠点として2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点を五條市に整備。
- 大規模広域防災拠点の整備に、リニア中央新幹線の建設に伴う発生土を活用。



大規模広域防災拠点の整備に発生土を活用



③鉄道による発生土の運搬

- リニア中央新幹線等の建設に伴う発生土を長期的・安定的に奈良市附近から五條市まで運搬する必要。
- 環境への配慮や脱炭素にも貢献する鉄道による輸送を検討。
- 発生土の運搬に際し、一部バイパス線の建設や線形改良を実施。



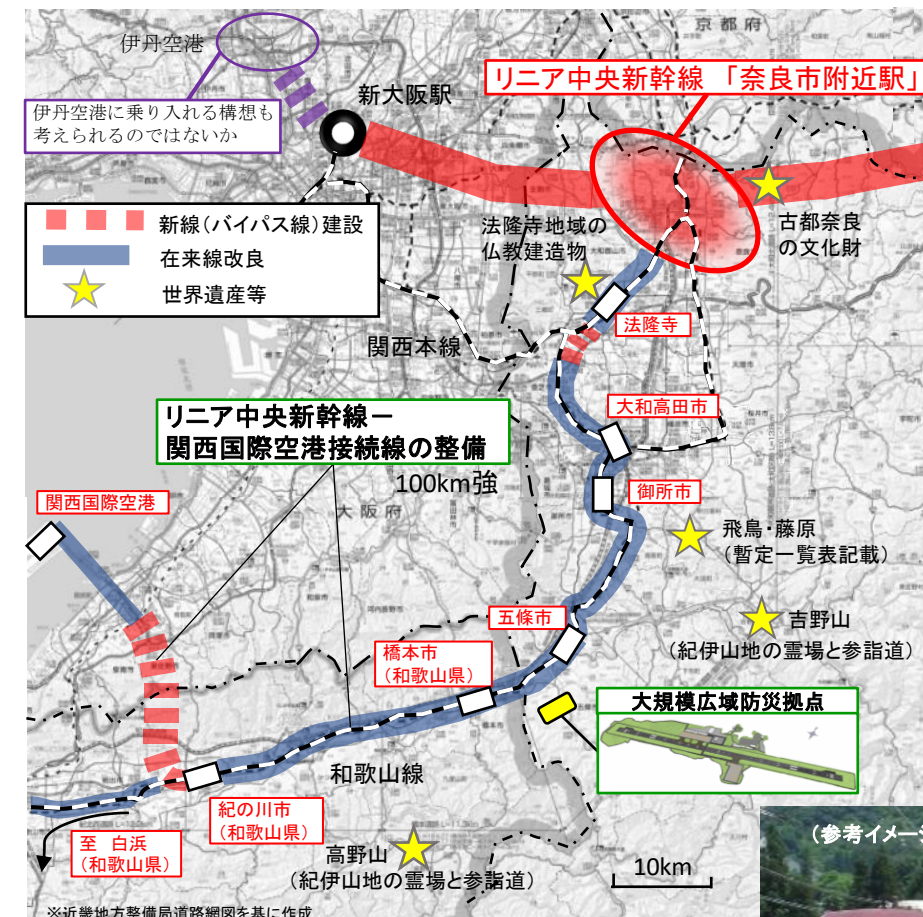
鉄道による輸送を検討するにあたり、JR西日本・JR貨物などからご知見やご助言をいただくことにしています。

国にお願いすること

- 関係事業者等との調整や技術的な検討を深めるうえで、**国からもご指導・ご協力を賜りたく存じます。**

④リニア中央新幹線－関西国際空港接続線の整備

- 新線建設と在来線改良の組み合わせ方式で検討。(在来線活性化や事業費低減等の観点から、できる限り在来線を活用)
- 発生土運搬のために改良した線路も活用するとともに、和歌山線と関西国際空港を結ぶルートを新設。
- 関西国際空港からのインバウンド観光客や、関東・中部地域からのリニア利用者を、本県の世界遺産等に連続的に取り込むとともに、リニア中央新幹線と近畿南部の観光地を結ぶ、より広域な観光ルートを形成。



整備費：1,900億円程度（全路線長100 km強）

※整備新幹線や過去の在来線改良事例を基に試算。車両調達費等は含まない。

新線建設：法隆寺駅付近～畠田駅付近

紀の川市駅付近～JR関西空港線合流部

国にお願いすること

- 『ポスト整備新幹線』を見据えた**新たな鉄道整備スキームの1つ**として、具体化に向けた検討を深めるうえで、**国からもご指導・ご協力を賜りたく存じます。**